

志村 恵

Megumi Shimura

副学長(教育担当)・国際交流センター長・
ヒューマンリソースコーディネーション機構長
文学修士

✉ megumi.shimura@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

移民政策、多胎家庭支援、ピアサポート、多文化共生、ドイツ社会

プロフィール

1984年 名古屋大学大学院 文学研究科 博士課程前期(ドイツ文学専攻) 修了
1986年-87年 ドイツ・ミュンヘン大学 哲学学部 留学(ドイツ学術交流会)
1987年 名古屋大学大学院 文学研究科 博士課程後期(ドイツ文学専攻) 中退
1987年 名古屋大学 文学部 助手(ドイツ文学研究室)
1991年 金沢大学 文学部 講師(ドイツ語学・ドイツ文学コース)
1994年 金沢大学 文学部 助教授
2008年 金沢大学 人間社会学域国際学類 教授
2009年 金沢大学 留学生センター長
2014年 金沢大学 学長補佐(ハラスメント防止担当:総合相談室総括相談員)
2018年 金沢大学 国際学類長
2020年 金沢大学 副学長
2024年 公立小松大学 理事・副学長

研究分野

ドイツの移民政策、多胎家庭支援、文学における「ふたご」

所属学会

日本独文学会、キリスト教史学会、日本双生児研究学会、日本公衆衛生学会、日本言語政策学会、日本ピアサポート学会

専門分野・研究分野

多胎家庭支援、ドイツの移民政策、外国人市民支援、
文学における「ふたご」

専門分野はドイツ文学、ドイツ学、多胎家庭支援、キリスト教学である。現在の研究としては、ドイツ文学では、文学作品の中に登場する「ふたご」(多胎児)のイメージラリーに関する研究を進めている。ドイツ学ではドイツの移民・難民政策(特に、「統合コース」(Integrationskurs))を参考にした日本社会における外国人市民のピア・サポート活動に関する実践的研究、多胎家庭支援では地域ネットや地域の子育て拠点をベースとしたピア・サポート活動等についてである。

研究内容

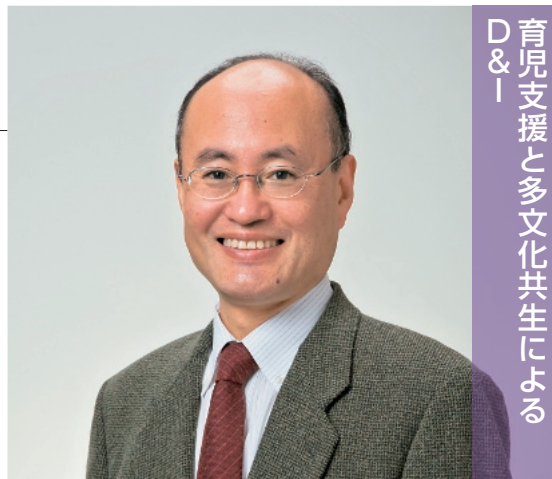
地域における外国人市民のピア・サポート

地域と協働した多胎家庭支援および

文学における「ふたご」のイメージラリー研究

ドイツの「地域の母」(Stadtteil Mütter)事業を参考にして、石川県において外国人市民のためのピア・サポート活動の実践的研究を行っている。同事業の研修プログラムを参考にしつつ、ピア・サポーター研修プログラムを開発し、それを試行する予定である。また、日本各地の地域ネットや子育て拠点をベースに展開している多胎家庭へのピア・サポート活動において、ピア・サポートに参加したサポーターの自己肯定感のエンカレッジについてアンケートに基づく調査研究を予定している。

さらに、文学作品の中に登場する「ふたご」(多胎児)の多様なイメージラリーに関する研究を進め、将来的には『ふたごの文学史』を執筆するつもりである。

D&I
育児支援と多文化共生による

シーズ・地域連携テーマ例

- 地域と協働した多胎家庭支援
- 地域における外国人市民のピア・サポート
- 多文化共生施策

論文

- „Musikleben im deutschen Pachtgebiet Tsingtau 1897-1914.“ SHIMURA, Megumi『金沢大学歴史言語文化学系論集 言語・文学篇』第11号、17～51、2019年3月
- 「『外国人市民のための日本社会適応・定着プログラム』の開発のためのニーズ調査報告」志村恵、深澤のぞみ、阿部愛沙大『言語政策』(日本言語政策学会)第16号69-82、2020年3月。
- „Leichenreden“ von Kurt Marti. SHIMURA, Megumi『金沢大学歴史言語文化学系論集 言語・文学篇』第14号、1～12、2022年3月
- 「多胎家庭への支援の必要性和その考え方」志村恵、松葉敬文、松本彩月『周産期医学』52巻9号、1193-119、2022年9月
- 「多胎児の保育所等への入所に関する全国調査」『双生児研究』(2024)、3 (2)、1-7。志村恵、松葉敬文、松本彩月他

書籍等出版物

- ヴェルナー・フート:『原理主義 確かさへの逃避』(志村恵訳) 新教出版社、2002年
- 「ふたご・みつごの安心! 妊娠・出産・子育てブック」翔泳社、2024年、共著。

講演・口頭発表等

- 「多胎家庭および外国籍市民へのピア・サポート活動」日本ピアサポート学会第22回研究大会、2024年11月

競争的資金等の研究課題

- 「なぜドイツ人俘虜は第九を初演できたのか? ドイツ租借時代の青島の音楽活動について」科研挑戦的萌芽研究(研究代表者)、2015-16年度
- 「『外国人市民のための日本社会適応・定着プログラム』の開発・試行」科研基盤研究(C)(研究代表者) 2018-2022年度
- 「地域共生社会を目指す、外国人市民のためのピアサポート・プログラムの開発・試行」科研基盤研究(C)(研究代表者) 2023-2025年度

社会貢献活動

- 一般社団法人「日本多胎支援協会」代表理事
- NPO法人「たぶんか協働ネットワーク」理事
- JICA北陸共創推進アドバイザー(2024年～)
- 日本双生児研究学会(会長:2020-21年度)
- 日本独文学会北陸支部(支部長:2011年-2012年、2025年-2026年)
- 石川県成長戦略会議「個性豊かな地域づくり部会」委員(2022-23年度)